

100年前に夢二が発信♡

大正時代の

乙女がときめく

デザイン&イラストを中心に

「かわいい」展



海外でも近年高く注目される「かわいカawaii」ですが、大正ロマンを象徴する画家・竹久夢二（1884-1934）は、自身がデザインした小物を大正時代に「かわいい」という言葉を用いて紹介し、暮らしや装いにいち早く彩りを添える仕事に才能を発揮しました。また大きな眼と、華奢で丸みを帯びた姿形を描き表した可憐な少女像の《抒情画》を確立し、日本近代の女性が憧れる「かわいい」世界を、夢二は時代に先駆けて表現しました。

さらに夢二は、おしゃれなデザイン画や素材で微笑ましいカット絵、加えて愛らしい子供絵も手掛け、現代にも通じる「かわいい」を数多く残しました。

本展では今から100年前に夢二が発信した「かわいい」を集めて広く展示紹介するとともに、大正時代を中心に夢二が展開した「かわいい」の役割についても考察していきます。

2016
3・31^{THU}
▽
6・26^{SUN}

休館日 月曜日（ただし4・19・5・8の間は無休）
開館時間 午前10時～午後5時 入館は午後4時30分まで
入館料 一般900円／大・高生800円／中・小生400円

※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

✿
担当学芸員による
ギャラリートーク
4/10(日) 5/8(日)
6/12(日)
午後3時ヨリ



2



3



4



5



6



7

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

Tel 03(5689)0462

<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>